

2009 年 11 月号

プレス会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

- ◆ 第 104 回 理 事 会..... 2
- ◆ 技能検定「金属プレス加工」..... 3
- ◆ ISO旬報〈環境アラカルト〉..... 4
- ◆ 第 11 回 家 族 健 康 ハイキング..... 6
- ◆ 金属プレス加工技術研究会..... 7
- ◆ 忘 年 会 の ご 案 内..... 9
- ◆ 省 SO₂ 設備導入補助金事業..... 10
- ◆ 年末資金のお知らせ..... 13
- ◆ 塑性加工シンポジウム..... 14

社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

第 104 回 理事会

去る 5 月 26 日（火）開催の第 33 回通常総会において、第七代会長に就任された、夏山享啓
新会長（夏山金属工業㈱代表取締役社長）の就任後初めての理事会が多数の役員出席のもとで
開催された。

開催日 10 月 21 日（水） 17：30～19：00

会 場 たかつガーデン 2 階「藤」

出席者 **理 事**

夏山享啓 宮永憲一 新川弘一郎 佐藤 進 中辻 康
朝田政男 河合邦晃 斎藤 弘 島田恒幸 津村卓男
難波勝利 西村哲也 南 雅佐夫 森 譲 横幕武夫
吉田多佳志 関 健一（飯田 勝 代理）

監 事 濱田 恵 宇良 浩

顧 問 河原 滋 西山奈津子

事務局 池田昭次郎 西野美恵子

- 議 事 ①平成 21 年度上期事業報告及び収支報告
②平成 21 年度会員異動状況【下記参照】
③平成 21 年度下期事業計画（実行計画）
④「金属プレス加工技術展 2010」に向けて



会 員 異 動 状 況

	3/31現在	入 会	退 会	10/21現在
正 会 員	1 0 5	1	7	9 9
賛助会員	1 8	3	0	2 1
特別会員	1	0	0	1
合 計	1 2 4	4	7	1 2 1

入 会 （正 会 員）㈱神鉄鋼業

（賛助会員）トルンプ㈱ （有）エフ・テック ㈱キカイサービス

退 会 （正 会 員）エス・ティ・プレス㈱ ㈱シンエイ ㈱要プレス工業所

光和工業㈱ 佐々木産業㈱ 淡野鋼業㈱ 中央鉄工㈱

平成 21 年度 前期技能検定 「金属プレス加工」実技試験終わる

(社)大阪金属プレス工業会では、平成21年度前期技能検定「金属プレス加工」職種の実技試験を、大阪府より委嘱を受けて実施した。

試験会場は、大阪府立南大阪高等職業技術専門学校人材開発センター(和泉市テクノステージ)で行った。

試験日 平成21年9月7日(月)～10日(木)
会場 大阪府立南大阪高等職業技術専門学校

本年は、1級33名、2級35名の計68名が受検、
昨年(88名)を下回った。

本試験に先立ち、技能検定補佐員及びOBの
方々の指導により、9月3日(木)～6日(日)の4
日間、同会場において準備講習会を実施、53名
が受講した。



合格発表 平成21年10月2日(金)
場所 大阪府職業能力開発協会

上記試験の合格発表が、10月2日(金)にあり、1級23名2級22名の方が技能士(実技・学科共合格)になりました。誠にありがとうございます。より一層のご研鑽をご期待申し上げます。

技能士には、労働安全衛生法等関係法令により年1回の定期点検が義務付けられている、動力プレス機械
特定自主検査に係わる事業内検査者の資格が、厚生労働省の通達により自動的に付与されます。

尚、合格者には12月初旬に、1級は厚生労働大臣、2級は大阪府知事よりそれぞれ合格証が交付されます。

本会からの技能士合格者は次のとおりです。(敬称略)

1 級 (5 名)	塚本 保伸 (㈱津村製作所)	福富 哲郎 (夏山金属工業㈱)
	林 隆敏 (㈱津村製作所)	八木 一憲 (㈱八木製作所)
	小谷 忠一 (㈱津村製作所)	
2 級 (1 1 名)	山口 祥治 (飯田金属工業㈱)	蒲田慎太郎 (㈱エスケイケイ)
	吉田 研二 (㈱エスケイケイ)	宇都 広信 (㈱カサタニ)
	渡邊 広之 (㈱エスケイケイ)	西村 昌司 (国産部品工業㈱)
	大西 秀貴 (㈱エスケイケイ)	藤原 康二 (㈱津村製作所)
	南垣内喬之 (㈱エスケイケイ)	中前 敦希 (㈱津村製作所)
	熊田 拓哉 (㈱エスケイケイ)	



高速道路1000円でCO2排出量は...

高速道路通行料無料の賛否両論が騒がれていますが、土日祝日、ETC搭載車限定で1000円にする特別割引制度で実際どうだったのか？景気刺激はされたのか？恩恵受けたのはだれ？大変な目に合ったのはだれ？運輸調査会が「高速道路料金引き下げに関する研究会」報告概要で触れられているのをご紹介します。

1. 景気刺激策としての効果は？(原文のまま抜粋)
 - ・宿泊施設や観光施設などに対しての観光関連消費がいずれも増加しており、景気刺激策として一定の効果はあったものと考えられる。
 - ・本施策による効果は、全国各地の観光地がその恩恵を享受したわけではなく、地域的に偏りが見られる。
 - ・GWにおいて、都道府県外へおでかけした方(利用交通機関は問わない)のうち、高速道路ETC利用者は約57%であり、必ずしも長距離のおでかけをする全ての層が本施策のメリットを享受している訳ではない。
2. 国内交通流動変化について
 - ・新規誘発及び他交通機関からの転換を合わせ、高速道路利用者数は、36.0%増加したと推計される。また鉄道から高速道路利用に6.6%が転換したと見られる。
3. 環境に与える影響について
 - ・本施策によるCO2排出増加量は、全国で年間204万トンと推計される。

【表3】 年間(土・日・祝日)CO2排出量の変化(人キロベースでの試算)

	排出量の増減(年間)	備考
増要素	新規誘発 +192万トン 他交通機関からの転換 +25万トン	新規誘発には、距離を変更した(延長した)ことによる増加分を含める
減要素	一般道から高速道路への転換 △13万トン	
合計	+204万トンの増加	

(出所)交通機関別流動量モデルに基づく試算結果

【表4】 本施策によるCO2排出増加量の与える影響(ベンチマーク指標)

比較データ	t-CO2/年	204万tの場合
1990年比25%削減目標に対する排出削減量 (2007年実績からの比較)	4.28億	0.48%に相当
日本の運輸部門の年間CO2総排出量(2007年)	2.49億	0.82%に相当
自家用車からの年間CO2排出量(2007年)	1.24億	1.64%に相当
鉄道(旅客・貨物)からの年間CO2排出量(2007年)	826万	24.7%に相当

(出所) 国立環境研究所 G10

環境アラカルトとしてはこの数字が気になる。
削減目標25%に近い数字を出した思惑は？

この報告には他に渋滞や事故の増加やによる物流業界への負の影響や他の交通機関への影響も報告されています。

めざせ！1人、1日、1Kg CO₂削減



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

チーム・マイナス6%のホームページで面白いものを見つけたのでご紹介します。

「めざせ！1人、1日、1Kg CO₂削減」

自分がやっているエコは何KgのCO₂削減？
この節約は何KgのCO₂削減？
このエコは今ではやってないけど、やれるな！
全部で何KgのCO₂削減？



めざせ！1人、1日、1kg CO₂削減

是非皆さんも診断して、チャレンジ宣言カードを作ってみてください。そして実行してください。

チーム・マイナス6%ホームページ

<http://www.team-6.jp/try-1kg/index.php>

私の宣言カードです。
私にとって1Kgはもう少し
のところですよ。
でも実行可能な宣言です。



めざせ！1人、1日、1kg CO₂削減

私のチャレンジ宣言

私、黒猫パピは
チーム・マイナス6%のチーム員として

1日 0.994 kg削減します。
1日1kg削減できるように頑張ります。

平成21年10月5日

20723423

夏の冷房時の設定温度を26℃から28℃に2℃高くする。	83g
冬の暖房時の設定温度を22℃から20℃に2℃低くする。	96g
シャワーの使用時間を1日1分短くする。	74g
白熱電球を電球形蛍光灯に取り替える。	45g
アイドリングを5分短くする。	63g
発進時にふんわりアクセル「eスタート」をする。	207g
加速の少ない運転をする。	73g
ゴミの分別を徹底し、廃プラスチックをリサイクル。	52g
冷房の利用時間を1時間減らす。	26g
暖房の利用時間を1時間減らす。	37g
主電源をこまめに切って待機電力を節約。	65g
ジャーの保温をやめる。	37g
夜中にジャーの保温をやめる。	37g
ご飯は保温するよりレンジで解凍する。	1g
電球(電球形蛍光灯)の点灯時間を短くする。	2g
テレビを見ないときは消す。(ブラウン管テレビ)	13g
使わないときは温水洗浄便座のフタを閉める。	15g
温水洗浄便座の便座暖房の温度を低めに設定する。	11g
冷蔵庫の扉を開けている時間を短くする。	3g
冷蔵庫を壁から適切な間隔で設置する。	19g
ガスコンロの炎をなべ底からはみ出さないように調節する。	5g
やかんや鍋を火にかけるときは、やかんの底や鍋底の水滴を拭き取る。	1g
食器を洗うときガス給湯器の温度を低く設定する。	29g



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

第11回 家族健康ハイキングのご案内 日本一の柿どころで柿狩り



2009. 9. 25

(社)大阪金属プレス工業会
経営委員長 東 潤一郎

一昨年に実施いたしました、日本一の柿どころ奈良県五條市での「柿狩り」を、多数の皆様のリクエストにお応えして、再び実施することになりました。
会員従業員ならびにご家族お誘いの上、奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 11月29日(日) 10:00集合

難波駅 9:02 発→林間田園都市駅 9:47 着

2. 場 所 奈良県五條市

3. 集 合 南海高野線「林間田園都市」駅前

4. 参加費 2,000円/人(バス代・昼食代・柿狩り代・地元産椎茸のお土産付)

5. 内 容 林間田園都市→貸切バス→五條市・史跡公園(長屋門)駐車場→ボランティアガイドによる、
新町通り散策(民族資料館・まちなみ伝承館)→〈夢宗庵にて昼食〉→バス→柿狩り会場(食べ
放題・持ち帰り)→〈貸切バス〉→林間田園都市(15:30頃解散)

6. 定 員 50名 ※定員になり次第締切りとします。但し、現地集合の方のみ受付します。

7. 準備品 植木バサミ(100円ショップ)、果物ナイフ、ビニール袋、ビニールシート・軍手等

(社)大阪金属プレス工業会宛

FAX 06-6762-7633

11/29(日) 第11回 健康ハイキング参加申込書

会 社 名			担当者名		
参加者名			参加者名		
1		大人・子供	5		大人・子供
2		大人・子供	6		大人・子供
3		大人・子供	7		大人・子供
4		大人・子供	8		大人・子供

プレス加工と接合・組立てによる生産力と商品力の向上

塑性変形は主としてプレス加工など部品加工に利用されているが、接合・組立てにも利用できる。この塑性結合技術は金属材料の塑性流動によるアンカー効果や締付けの残留応力を利用する技術であり、溶接に比較して生産性が高く、また精度、意匠性、環境との調和性、さらに品質安定性に優れた特徴を有している。そのため、プレス加工と組み合わせることにより生産力、および商品力の向上への寄与が期待できる。本セミナーでは塑性結合が部品加工からアセンブリにまでその活用範囲を拡げることを目指して、塑性結合技術の現状について紹介し、今後の展望を考える。

- 【開催日】 平成21年11月30日(月) 13:00~17:00
 ※ 会場の都合上、受付開始は12:30からとさせていただきます
 【会場】 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 会議室1202
 (愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL:052-571-6131)
 【主催】 社団法人 日本金属プレス工業協会
 【協賛】 社団法人 愛知県金属プレス工業会
 【総合司会】 東京工業大学 大学院理工学研究科 教授 村上 碩哉 氏

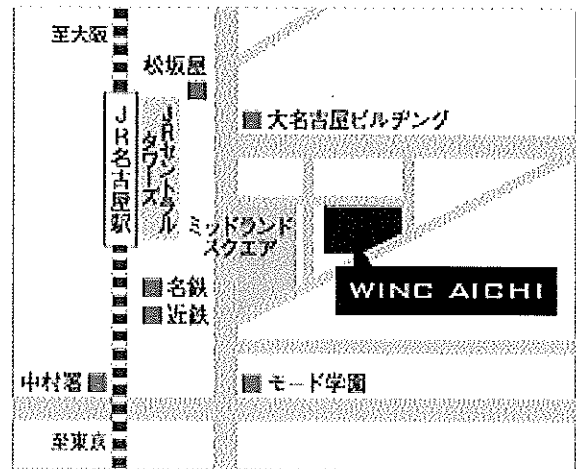
【プログラム】

13:00	開会の辞
13:05~ 13:45	「金属プレス加工における金型内組立によるコスト低減」 株式会社 セキコーポレーション 代表取締役 関 重和 氏
複数のプレス部品で構成するユニット部品を1台のプレス機械の中で同時加工し、更に組立接合までを一貫生産することにより大幅なコスト低減を実現。	
13:45~ 14:25	「金属のファスナーレス接合法」 株式会社 エナミ精機 代表取締役 江波 俊明 氏
近年、金属同士の溶接加工の代替や締結のための副資材を要しない締結法としてファスナーレス接合法が着目されだしている。本締結法は特に家電製品を中心とした製造ランニングコストの大幅削減が可能であり、且つ、将来に向けて避けては通れない重要課題となっている環境改善や省エネ、省資源に対してもプレコートメタル等の採用に対応した締結法として有効な接合法と言える。	
14:25~ 15:05	「セルフピアシングリベットとメカニカルクリンチングによる板材の接合」 豊橋技術科学大学 生産システム工学系 講師 安部 洋平 氏
セルフピアシングリベットとメカニカルクリンチングによる板材の塑性接合法について述べる。抵抗溶接では困難なアルミニウム合金板と高張力鋼板の接合性、接合された継ぎ手の強度を紹介する。	
15:05~15:15	休憩 (10分)
15:15~ 15:55	「摩擦攪拌接合の基礎と適用事例」 株式会社 日立製作所 日立研究所 主管研究員 材料基盤技術センター長 稲垣 正寿 氏
接合機構と特長、接合装置、他の接合方法との比較、留意事項、適用事例、今後の動向について概説します。できる限り、動画、図表を使用して平易でビジュアルな説明を行う予定です。	
15:55~ 16:35	「自動車車体への摩擦点接合の適用と課題」 マツダ株式会社 技術研究所 テクニカルスペシャリスト 田中 耕二郎 氏
自動車車体の材料代替技術としてコスト面や生産性等に有用なアルミ同士及びアルミ-鋼板の摩擦点接合技術について、そのプロセスや接合メカニズム、今後の課題を紹介する。	
16:35~17:00	7 総合討論

参 加 要 領

- ◆ 定 員 100名
- ◆ 参加費 本協会会員 7,000円
 会 員 外 12,000円
 (テキスト代含む)

愛知県産業労働センター
ウイングあいち 案内図



◆ 参加費のお支払方法

平成 21 年 11 月 26 日 (木) までに下記の
銀行口座にお振込ください。なお、お振込料は
ご負担くださいますようお願い申し上げます。

※当日の参加費のご持参については、十分な対応が
困難なため、お断りしております。

みずほ銀行 新橋支店 (普通口座) 1746965
口座名) 社団法人日本金属プレス工業協会

◆ キャンセル

当日にキャンセルされた場合は、ご入金いただき
ました参加費はご返金いたしませんので、予め
ご了承ください。

JR・地下鉄・名鉄・近鉄
名古屋駅より徒歩 2 分

- ◆ 申込方法 平成 21 年 11 月 26 日 (木) までに、下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえファ
ックスにてお申込みください。なお、本協会ホームページからでもお申込みできます。
(<http://www.nikkin.or.jp>)

- ◆ 参加申込 社団法人日本金属プレス工業協会 (研究会担当: 小林)
お問合先 TEL: 03-3433-3730 FAX: 03-3433-7505

FAX: 03-3433-7505 (社)日本金属プレス工業協会 宛

第 78 回金属プレス加工技術研究会参加申込書

御社名		連絡ご担当者お名前	
所在地 〒			
TEL		FAX	
お名前		部署・お役職名 / e-mail	
振込み予定日		参加費 円 月 日 に振込みます	

平成21年10月28日

会 員 各 位

(社) 大阪金属プレス工業会
会 長 夏 山 享 啓
総務委員長 西 村 哲 也

忘年会開催のご案内

前略 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の忘年会を下記のとおり開催致しますので、会員企業の皆様におかれましては、この時節大変ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

◇ 日 時 12月9日(水) 18:00~20:00

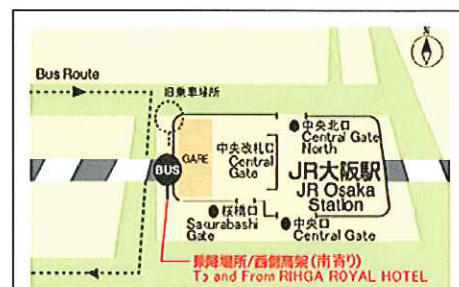
◇ 場 所 リーガロイヤルホテル 2階「梅の間」
大阪市北区中之島5-3-68 TEL 06-6448-3431
京阪中之島線「中之島駅」直結 JR大阪駅からシャトルバス6分間隔(下図参照)

◇ 参加費 8,000円/人 〈振込先〉三菱東京UFJ銀行 上本町支店
(社)大阪金属プレス工業会
口座番号 普通 487575

以 上

(社) 大阪金属プレス工業会宛
FAX 06-6762-7633
Mail omsa1@omsa.or.jp

12/9 忘年会参加申込書



企業名		
参加者	役職名	氏 名
お支払い方法	☐ 当日払い	☐ 振込(月 日 予定)

民間事業者の省CO₂設備導入を支援します！

—補助金の募集案内—

平成21年度 大阪府民間事業者省CO₂設備導入支援事業

大阪府では、地球温暖化対策を推進するため、大阪府グリーンニューディール基金を活用して、「大阪府民間事業者省CO₂設備導入支援事業補助金」を創設し、民間事業者による二酸化炭素削減効果の高い設備（以下「省CO₂設備」といいます。）の導入を支援します。

募集期間：平成21年11月2日（月）～平成21年11月24日（火）（必着）

※申請を検討される方は、事前に環境農林水産部みどり・都市環境室へ
電話又は直接来室の上、御相談ください。

1 補助対象事業

大阪府内で実施される以下の事業を対象とします。

- ① 公共性の高い施設への省CO₂設備導入事業
民間事業者が公共性の高い施設へ省CO₂設備を複合的又は一体的に導入する事業
- ② 中小事業者省エネルギー診断事業
中小事業者が省CO₂設備を導入するために実施する省エネルギー診断事業
- ③ 中小事業者省CO₂設備導入事業
中小事業者が省CO₂設備を複合的又は一体的に導入する事業

※対象となる「省CO₂設備」は、以下のとおりとします。

- ア 高効率ボイラー、排熱回収装置その他の生産設備及びその付帯設備であって、二酸化炭素削減効果の高いもの
- イ 高効率空調設備、LED照明その他の建築設備であって、二酸化炭素削減効果の高いもの
- ウ 高反射率塗料、窓用日射遮蔽フィルムその他の建築物外皮による空調負荷低減等技術であって、二酸化炭素削減効果の高いもの

※「公共性の高い施設」は、以下の施設その他の不特定多数の者が利用する施設であって、民間事業者が設置するものとします。

- ア 車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場を構成する建築物で、旅客の乗降又は待合の用に供するもの
- イ 集会場又はこれに類する施設

※「中小事業者」とは、大阪府温暖化の防止等に関する条例（平成17年大阪府条例第100号）の対象事業者でない民間事業者をいいます。

※「省エネルギー診断」は、以下の技術資格を有する者又はこれらの者を使用する法人が、他の者の空調設備等の稼働状況及びエネルギー使用量について調査・分析を行い、それらの結果に基づき、更なるエネルギーの使用の合理化が図られるべく、設備の導入等について提案が行われるものとします。

ア 一級建築士

イ 一級建築施工管理技士

ウ 一級電気工事施工管理技士

エ 一級管工事施工管理技士

オ 技術士（建設、電気・電子、機械、衛生工学、環境）

カ エネルギー管理士（熱、電気）

キ 建築設備士

※「中小事業者省エネルギー診断事業」は、省エネルギー診断の結果に基づき、省CO₂設備の導入が見込まれるものであることとします。

※「中小事業者省CO₂設備導入事業」は、省エネルギー診断の結果に基づき、省CO₂設備が導入されるものであることとします。

※「複合的な導入」とは、高効率ボイラーとLED照明など異なる複数の省CO₂設備を導入することをいい、「一体的な導入」とは、LED照明を本社ビルと本社ビル以外の工場に導入するなど同一の省CO₂設備を複数の場所に導入することをいいます。

2 事業実施期間

府が交付決定を行った日から、当該年度の3月31日までとします。

3 補助金の額

以下の事業毎に大阪府が決定した額とします。

① 公共性の高い施設への省CO₂設備導入事業

補助対象経費から寄付金その他の収入額を差し引いた額の3分の1以内（補助上限額：1,200万円）

② 中小事業者省エネルギー診断事業

補助対象経費から寄付金その他の収入額を差し引いた額の3分の1以内（補助上限額：7万円）

③ 中小事業者省CO₂設備導入事業

補助対象経費から寄付金その他の収入額を差し引いた額の3分の1以内（補助上限額：140万円）

4 補助事業の決定

申請のあった交付申請書を審査し、予算の範囲内でCO₂削減効果等を総合的に勘案して採択します。

交付決定は、11月下旬を予定しています。

5 その他

- ・事業実施者は、事業年度の翌年度から起算して5年間、事業の実施に伴う二酸化炭素の削減の状況を把握するものとします。また、府の求めに応じて、事業の実施に係るこれらの情報を提供するものとします。
- ・公共性の高い施設への省CO₂設備導入事業の事業実施者は、事業の実施に伴う二酸化炭素の削減効果等を府民に広く普及啓発するため、これらの内容を記載した表示板を設置するものとします。

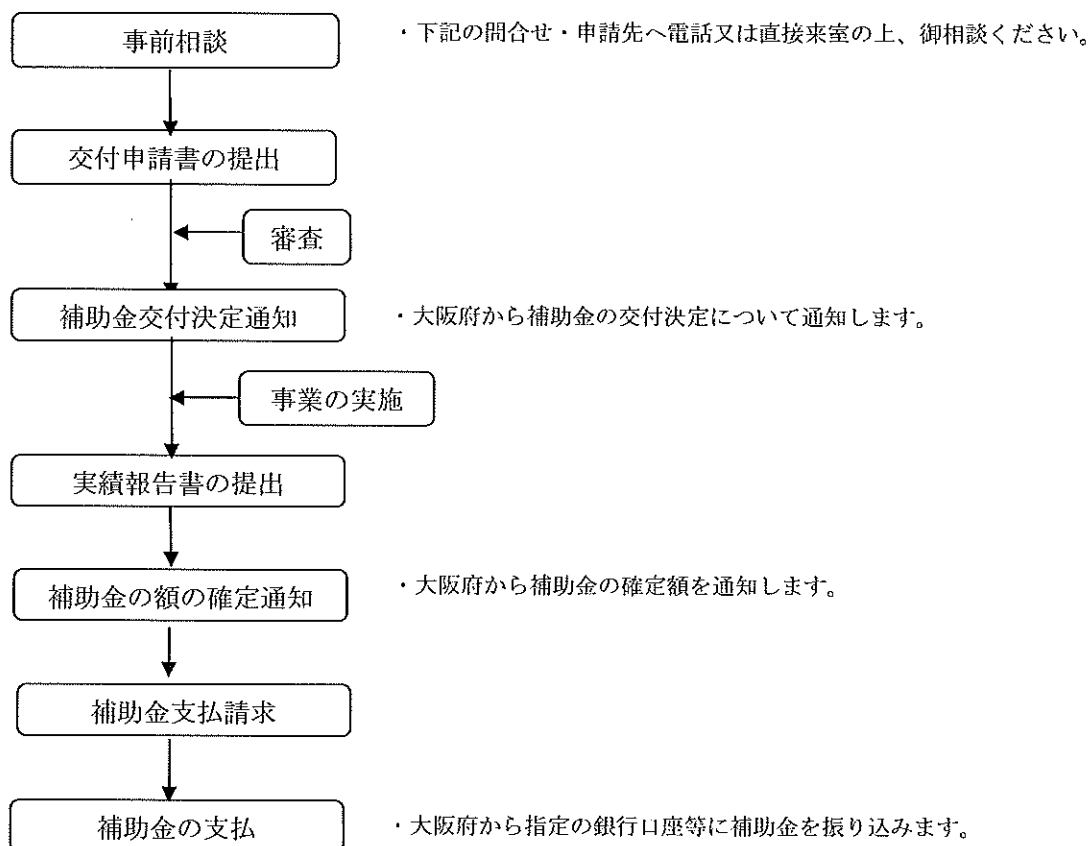
6 交付申請書の提出

補助事業に応募される事業者は、交付申請書等を募集期間内に環境農林水産部みどり・都市環境室へ提出してください。

- (1) 提出部数：正1部・副2部、計3部
- (2) 提出方法：持参又は郵送で提出してください（期限必着）。ただし、郵送の場合は、簡易書留など記録が残る方法でお送りください。
- (3) 申請書類は下記のホームページからダウンロードしてください。

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/jigyotoppage/syoco2hojyo.html>

7 手続きの流れ



8. 問合せ・申請先

大阪府 環境農林水産部 みどり・都市環境室 地球環境課 温暖化対策グループ

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7 (大阪赤十字会館8F)

電話：06-6944-9207

※ 御相談、提出に来室される際は、できるだけ電話で事前予約の上、土、日、祝日を除く、
9時15分～12時15分、13時～17時45分をお願いします。

日本政策金融公庫 国民生活事業 年末資金のお知らせ

日本政策金融公庫 国民生活事業では、商品仕入・手形決済・諸経費支払などの年末資金のご相談を承っております。お気軽にビジネスサポートプラザ大阪または最寄りの支店でご相談ください。

【普通貸付】

ご融資額	4,800万円以内
利 率	年2.25%～〔固定〕(平成21年10月15日現在)
ご返済期間	運転資金 5年以内(特に必要な場合は7年以内) 設備資金 10年以内



【第三者保証人等を不要とする融資】

ご利用いただける方 次のいずれの要件にも該当する方

- 1 税務申告を2期以上行っていること。
- 2 原則として、所得税等を完納していること。

ご融資額	4,800万円以内
利 率	年2.90%～〔固定〕(※)
※基準利率が年2.25%(平成21年10月15日現在)の場合	
ご返済期間	運転資金 5年以内(特に必要な場合は7年以内) 設備資金 10年以内

(注) * 利率は金融情勢によって変動いたしますので、お借入金利(固定)は、記載されている利率とは異なる場合がございます。

* お使いみちやご返済期間によって異なる利率が適用される場合があります。

* 審査の結果、お客さまのご希望に添えないことがあります。

《お問い合わせは》 **JFC 日本政策金融公庫** 大阪支店 国民生活事業

こくきんビジネスサポートプラザ大阪

〒530-0057 大阪市北区曽根崎2丁目3-5

梅新第一生命ビルディング7F

電話 06-6315-4649

FAX 06-6315-1183

ホームページアドレス <http://www.k.jfc.go.jp/>

第 280 回塑性加工シンポジウム

「環境問題に対応するための塑性加工技術」

日 時：平成 22 年 1 月 29 日（金）9:30～16:40

会 場：キャンパスプラザ京都 第一講義室 [〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル TEL：(075)353-9111]

交 通：JR・近鉄「京都駅」下車すぐ（京都中央郵便局西側）

主 催：日本塑性加工学会（実行：関西支部）

協 賛：軽金属学会，精密工学会，日本機械学会，日本金属学会，日本鉄鋼協会，日本材料学会，日本トライボロジー学会，型技術協会，日本金型工業会，粉体粉末冶金協会，大阪金属プレス工業会，日本金属プレス工業会，日本鍛造協会，日本歯車工業会

趣 旨：軽量化等環境問題に対応した技術が，今後さらに必要とされている．そのためには，新しい塑性加工法や軽量材料に適した塑性加工技術の開発が不可欠である．本シンポジウムでは，自動車を中心に環境問題の動向を把握するとともに，最近注目されている新プレス成形技術や最新の軽量合金の塑性加工関連技術を紹介し，その将来展望について議論を行う．

プログラム：開会の辞（9:30～9:35）

日本塑性加工学会 関西支部長

高倉 章雄君

午前の部（9:35～11:35）

司 会

京都大学

馬淵 守君

午後の部（12:35～16:10）

司 会

㈱三和鋳造製作所

樫本 宏志君

時 間	内 容	講 師
9:35～10:15	自動車を取り巻く環境と自動車の軽量化 ：自動車に課せられた課題は多く，中でも CO ₂ 排出量削減（燃費向上）は，重大かつ緊急性の高い課題となっている．この方策のひとつである車両の軽量化を目的に，構造合理化や軽量材料への置換が積極的に行われてきた．その具体的な取り組みや今後の方向性等について紹介する．	日産自動車㈱ 材料技術部 板倉 浩二君
10:15～10:55	環境商品を支える革新的プレス加工 ：未曾有の不況の中，環境商品へ向けた開発が急務となっているが，まだ価格の課題が残っている．本講演では，当社のプレス加工の魅力・革新性を述べることで環境商品に向けた低コスト化を提案する．	㈱サイバックコーポレーション 平林 巧造君
10:55～11:35	数値解析を活用した熱間プレス成形工程における変形挙動と相変態予測について ：超高強度鋼板の熱間プレス成形工程とその後の焼入れ工程において，相変態を考慮した連成解析を実施し，鋼板の変形挙動および相変態による組織変化を考察した事例を紹介する．	Solution Lab Kyunghoon Lee 君 ㈱ヤマナカボーキン 金 秀英君
11:35～12:35	休 憩	
12:35～13:15	金属薄板の弾塑性変形のモデル化とその応用 ：金属薄板（ハイテン板等）の弾塑性構成モデル，それを用いた有限要素法解析と上記解析を実行する際に必要な実験結果について述べる．また，非比例変形を考慮できる新構成式についても言及する．	近畿大学工学部 機械工学科 上森 武君
13:15～13:55	連続鍛造圧延法を応用した部品用アルミ合金の開発 ：自動車の軽量化のために部品のアルミ化が進んでいる．アルミ化には，強度等の基本的な材料特性だけでなく，客先での加工方法に合わせた材料が求められている．本講演では，連続鍛造圧延法の特徴を生かし，鍛造用や切削用のアルミ合金素材の開発状況等を報告する．	住友電気工業㈱ 岡村 信幸君 高木 義幸君
13:55～14:35	構造用アルミニウム合金の摩擦攪拌接合継手の諸特性 ：構造用アルミニウム合金において，同一合金の数社の製作になる母材と数社による摩擦攪拌接合施工法との組合せで作製した継手での，機械的性質等の諸特性について検討してきた．本講演では，母材や施工法の違いによる差異を中心にその結果を報告する．	㈱軽金属溶接構造協会 FSW 委員会 住友軽金属㈱ 難波 圭三君
14:35～14:50	休 憩	
14:50～15:30	冷間プレス性に優れるマグネシウム合金の開発 ：マグネシウム合金の実用化の壁となっている問題の一つとして，冷間プレス性に乏しいことが挙げられる．本講演では，アルミニウム合金と同等の冷間プレス性を示すマグネシウム合金圧延材の開発について報告する．	産業技術総合研究所 千野 靖正君 日立金属㈱ 安来工場 森 英樹君
15:30～16:10	高精度 4 軸平行加圧サーボプレス機による高精度・複合加工 ：製造業には依然厳しい状況であるが，このような状況にこそこれまでとは違う試みが必要である．本講演では，スライド平行制御を実現したサーボプレス機を例に取り，その特徴を生かした高精度・高品位なものづくりの手段の紹介と，特徴的な加工事例を紹介する．	㈱放電精密研究所 開発事業部 高橋 竜哉君
16:10～16:40	総合討論 司会 ダイジェット工業㈱	森 章司君

定 員：100 名（定員になり次第締切り，定員超過の場合はご連絡します．）

参 加 費：

	事前申込(1 月 22 日必着)	1 月 23 日～当日
会 員	8,000 円	10,000 円
一 般	8,000 円(通常:12,000 円)	10,000 円(通常15,000 円)

(注)参加費にはいずれもテキスト代含む．学生は半額．協賛学協会は会員扱い．1 月 22 日(必着)までにお申し込みください．テキストのみは行事終了後残部があれば販売します．

申込方法：日本塑性加工学会ホームページ(<http://www.jstp.jp>)【行事のご案内】よりお申込みください．

参加券，請求書等をお送りします．なお，お支払いは請求書到着後 2 週間以内をお願いいたします．



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:omsa1@omsa.or.jp)